山茶花
～ サザンカ ～

Vol.49

発行年月日　2017年3月20日
発行責任者　（株）ミューみどりの丘
山茶花編集委員会
発行者住所　厚木市戸室3丁目16番20号
連　絡　先　Tel:046-221-9600
Fax:046-221-9601
mail:care@midorinooka.com

2016年を振り返り20周年を迎える

≪今までもこれからも大切に≫

みどりの丘
施設長　山﨑　乃浬子

「2017年7月にみどりの丘は20周年を迎えます」

今、振り返るとたったひとつのお年寄りの「お家」から始まった頃を懐かしく思い出します。その頃友人や多くの方たちに助けてもらいながら、毎日朝から晩まで自分の目指す介護ができる喜びでいっぱいでした。

入居の方も、そのご家族もみんなで心をあわせて、大きな家族を作っている実感を持ちながら過ごしていました。そんな日常を送りながらアッという間に20年がたってしまいました。

その間に私も親を介護する立場になり、子に助けてもらう場面も多くなっています。

20年の間にみどりの丘は高齢者の介護に加えて障がいの方の支援や、子どもたちの放課後支援と支援の対象も広がり、依り地域の皆様方と関わる事が多くなり、一緒に働いてくれる仲間も格段に増えました。

そして今、初心を忘れずにみどりの丘の思いを次の世代へ繋ぐことが現在の目標となっています。

みどりの丘を担ってくれる次の世代は頼もしいです。専門性に裏付けられた技術もさることながら、情熱をもって日々取り組んでいる姿を見ると、うれしくなります。

毎年作る事業目標は節目の意味も込めて「20年周年をむかえて・・今までも、これからも大切に。」としました。

次世代を担う者は、「いままで築いてくれた先輩方の功績を大切」に、そして次に繋ぐ私たちは、「次世代の背中を支える思いで」お互いを尊敬しあう関係を作っていきたいと考えています。

私の夢はいくつになっても、今まで助けてくれた仲間と一緒にシルバーチームを作り介護をし続けること・・です。

≪グループホームの素顔≫

デュオ
オーババーズ セキDuo
管理者　渡辺　セツ子

「何よりも介護者の優しい心が大切」

グループホームとは認知症の高齢者が、少人数で共同生活を送りながら専門スタッフによる身体介護と機能訓練、レクリエーションなどが受けられる施設です。

セキDuoの私たちは、大切なご家族様のお手伝いを一人一人に合わせて、悔いのない時間を過ごして参りたいと考えています。

「入居者様との日々の関わり方も画一的であってはならない」私は技術よりも優しい心を大切に、一緒に生活するということを第一に考え、職員皆がそうであって欲しいと常に願っています。

今入居されている方も、それぞれのご家族様の強い思い入れを抱いて入居されています。

皆さん仲良く大家族で生活され、朝の挨拶の「おはよう」から明るい笑い声が響き、穏やかで楽しい一日が始まります。

月に一度の駄菓子屋モン・レーヴの売店も楽しみの一つです。また毎週火曜日の歌の会も全員が参加され、楽しまれています。

多くの入居希望の方々から問い合わせもあり、苦しい思いでお断りせざるを得ない事も度々あります。中には内覧をされ“母の最期はこういう環境の中で見送りたい”と希望され、「空き室が出たら是非連絡が欲しい」と連絡先を置き帰られた息子様もいます。

認知症の方が家族と暮らすということは、ご家族様が24時間の見守りが必要でいろいろな点に負担が強いられます。今社会問題となっているお年寄りの2人暮らしは金銭の負担も多くなり、それはやがて介護疲れから病気を発症してしまう例が多くあります。

このようなことにより、経済的よりも介護疲れから解放されたご家族様より感謝されることも今までに数えきれないほどありました。

平成28年度もこれからもセキDuoはこれからも地域の人たちと関わる傍ら、常に注目され輝く施設でありたいと考えています。

≪多世代交流の場、企業内保育施設の役割 ≫

みどりの丘
総務担当責任者　山﨑　慎也

「ママ友交流と新しい世界の目覚め」

2016年度の神奈川県の保育園入園希望者は146,266人、保育園の定員は137,299人でした。引き算してみると8,967人が保育園には入れなかったことになります。このような現状から「働きたくても働けない」という言葉を耳にする中で、当会社（みどりの丘）としてできることを模索した結果、企業内保育施設を設置運営し、この方々に人材として協力をお願いすることでした。

現在のみどりの丘には、すべての6施設に託児利用職員が働いています。
育児のみの生活を送ることは、息抜きの場も少なく気持ちが落ち込んでしまうこともあります。そのため時間を決めて仕事ができ収入を得られるということは、お子様を持つ職員の方のメリットになっていると考えられます。
声として、「働くことで自分の視野を広げることができました」「気持ちにゆとりができました」「企業内託児というところで、保育料がかからないので助かります」という意見を頂いています。育児以外の自分の時間を作ることで、気持ちの区切りもつけられ、仕事にも育児にもいい影響を及ぼすことができているようです。

2014年から企業内託児を設立しましたが、当時から上記のような職員さんのニーズを満たすことを目的としておりました。また、子どもを通した職員同士の横のつながり(ママ友)も大きなメリットとなっているのではないかと思います。最近は、障害者支援施設「モン・レーヴ」で仲良くランチをしているママ友の姿を見かけることが増えてきました。笑い声に包まれたモン・レーヴに行くと、託児所を設けることで職員の皆様の生活を精神的にも金銭的にも豊かにできていることが実感できます。

みどりの丘は、女性の働きやすさを模索し続けています。託児所の時間延長もあわせて、職員の方が働きやすい環境を構築し、施設利用者の方にとっても居心地のいい「自分の家」のような環境を提供し続けられる施設にしていけるよう努力致します。

≪新人研修の実施と期待≫

みどりの丘セキVerde責任者　　逆井　弘子

「社訓の力に磨かれる介護力」

私がみどりの丘に入職して14年目となります。今でも記憶に残る私の「座右の銘」の言葉があり、苦しい時の支えとなっています。またそれは社訓にも通じます。面接時は『介護者はいつも冷静でありお年寄りの状態・容態をいち早く感じ取る事。そして適切な判断力、わけ隔て無い接し方、優しい気持ち、お年寄りが好きなこと、これがあれば大丈夫です』その言葉が支えとなり、私の介護の基本となっています。

やがて10年が経ち自分の介護力に自信がつき始めた頃、会社の方から新人研修担当をとの辞令が下りました。当社の介護（精神と技術）の指導はかなり難しいですが、自分なりにマニュアルを作成し、理論と実践を取り混ぜながら理解しやすい指導を心掛け、また経験ある受講者に対しても新鮮な受け取り方ができるように、工夫を凝らしました。

やがて3日間の研修期間が終わり、それぞれ配属先へと出向くことになります。今度は配属先で1職員としての立場で、ご利用者の特性・疾病・ケアの方法など、様々のことを習得しなければなりません。到底研修の中だけでは現場のことは補いきれません。今度は現場が新人職員に1つ1つ丁寧に指導しなければ本人の本当の介護力は発揮されません。新人教育とは、各事業所内での育て方が介護者としての生き方自体を変えてしまうほど大切なものではないかと考えます。研修で指導したことが活かされず、現場では全く違うケアをしているなどあり得ません。もしケア方法が食い違っていたならば、新人はすぐに壁にぶち当たり挫折してしまいます。これまでの指導が意味のないものになってしまいます。
せっかく入職し研修を受け意欲に燃えた職員が戸惑いを持つようなことをさせてはならないのです。もちろん各施設の事情や利用者によっては臨機応変な対応も必要でしょう。その場合は必ず研修の内容と現場状況の異なる点とを探し出し、適切な対応を説明し、納得をさせなければならないと思うのです。

一生懸命研修を受けていた新人が1ヶ月後に退職した。そんな悲しい知らせを耳にしたとき「自分の仕事は何なのだろう？」と無力感に襲われ、次の研修へのモチベーションを保つのが難しい時があります。

そんな時は社訓が私を奮い立たせてくれます。
知識や技術・資格は必要ですが、それよりもはるかに大切なのはお年寄りに対する優しい心遣いなのです。

これから研修を受けて頂く皆さん。そして研修を受けた現役の皆さん。常に「優しい気持ち」を持ち続けて欲しいです。そして、自分の親を預けたくなるような施設を目指して欲しいと思います。縁あって来て下さった方々と、いつまでも一緒に働いていきたいと願っています。

≪デイサービスの振り返り≫

通所介護事業部責任者　　幸田　裕介

「利用者要望と専門のプログラム」

昨年度「みどりの丘　デイサービス」には50名を超える新規利用者様を迎え入れました。

私自身、その方々の契約はもとより「介護保険更新」や「新規介護サービスの検討」等も含め80回を越す「サービス担当者会議」に出席させて頂き「ご利用者様」「ご家族様」「ケアマネージャー様」とサービスの在り方について様々な検討をおこないました。

「仲間を増やし会話を楽しみたい」「出かける事で気分転換を図りたい」など等、当然ながらすべての方が同じ想いでは決してなく多種多様のサービスやプログラムが必然と求められます。利用者様の「これまでの経験」を活かしプログラムを楽しみながら、今まで通りの生活を送ってほしいという想いや「これから目指すべき方向」をより実感（社会参加）して頂きながら住み慣れた地域で今まで通りの生活を継続して頂きたいという想いから「みどりの丘」では専門プログラム型の「地域密着型シンフーディーファンうみ・そら」をはじめ、楽しく学びながら認知症抑制を図る学習療法を取り入れた「認知症対応型シンフーディーファンたいよう」の3ヶ所でサービスを提供しております。

たとえ認知症の方でも、身体的な不自由をお持ちの方でも、現在の状態を維持したい方でも、それぞれの想いを「みどりの丘」でお答えできるように、ひとりひとりの利用者様の状況をよりよく理解することが必然となります。

また、数あるデイサービスの中から「みどりの丘」を選んでいただいたことを、真摯に受け止め「通って良かった」「笑顔が増えた」等のご家族からのお言葉や「笑顔でスタッフと会話を行うご様子」やお帰りの際に「今日も来てよかった！」と何気ない利用者様のお言葉が、私たちスタッフのやりがいであり糧となります。携わるスタッフすべての「おもい」を合わせることを目標にし、今後も意義あるデイサービスの構築に邁進致します。

≪世相≫

2016年
12月
・東京工業大学栄誉教授　大隅良典授氏　ノーベル医学生理学賞受賞
・国民的アイドルグループ「SMAP」解散
・韓国の朴槿恵大統領の弾刻訴追案が可決
・2020年開催の東京五輪・パラリンピックのメインスタジアムとなる
　新国立競　技場の起工式が行われる
・新潟県糸魚川市で、中華料理店から出火した火が強風であおられ
　計150棟を延焼した大火事が起こる
・豊洲市場問題発覚（地下空洞の汚水の滞留問題）

2017年
1月
・第93回東京箱根駅伝」で青山学院大学が往路復路を制し3年連続の総合優勝
・アメリカの新大統領に”ドナルド・トランプ”が就任
・第156回芥川賞に山下澄人さんの『しんせかい』、直木賞に恩田陸さんの
　『蜜蜂と遠雷』が選ばれた
・ 大関・稀勢の里、第72横綱へ　日本出身力士では19年ぶり

2月
・安倍首相,トランプ米大統領との初の首脳会談がホワイトハウスで行なわれた
・月末の金曜日に終業時間を早め、勤労者に余暇を楽しみ消費を喚起する
　「プレミアムフライデー」が始まった
・北朝鮮の最高指導者”金正日”の長男”金正男”がマレーシアのクアラルンプール国際空港で殺害される

≪編集後記≫

編集委員　磯野 啓治

桜の開花予想を聞かれる今日この頃とともに平成28年度も残り少なくなりました。山茶花49号は、平成28年各事業所1年の目標とその成果を総括してもらうことにいたしました。

最近マスコミ等によって報道される認知症問題、高齢者人口に対し認知症の占める割合が増加する昨今です。2025年には65歳以上の高齢者7人に1人が認知症に！その数700万人と想定されます。

利用者は「いかに日々楽しく生活できるか」職員は「させなくてはならないか」です。

この意味からも、職員が認知症の理解と技術のスキルアップに努めています。

みどりの丘は、地域介護にも施設の持つ介護支援役割を果たすため24時間365日が気の抜けない業務と支援に神経を張りつめているのです。